

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成

報 告 書

平成 26 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第二サービスセンター)

目次

1. 目的
2. 調査方法
3. 調査結果
4. まとめ

1. 目的

当会の長年にわたる石油・化学品貨物等の液体貨物輸送に関わる検査業務を通して得られた知見、及び同業務を遂行する上で必要な調査・研究によってこれまでに得られた多種・多様にわたる液体貨物等の物理的・化学的性質、取扱い方法、安全または品質に関わる注意事項、数量計算に適用される容積換算係数・密度等の物理定数、国内外法規制等をコンパクトに纏めて、データベース化して Web 上に公開する事によって、液体貨物の海上輸送に携わる輸出入商社、損害保険会社、船会社、製造会社等の不特定多数の関係者に上記情報を容易に入手出来るようにし、液体貨物の海上輸送に関わる安全性の向上および国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の取引の円滑化に寄与する。

2. 調査方法

当会に於ける原油・石油製品・化学品に精通している者 6 名にて、液体貨物の取扱いに関わる情報が収められている「ケミカルズ 800」（1989 年発行、当会編集）に記載の内容に関して、抜本的な見直しを行った上で、最新の国内外規格や多数の参考文献等を購入し、必要なデータ修正を行う。

特に各貨物の海上輸送上の安全に深く関与する物理的・化学的性状、危険性、有害性、許容濃度について、これまでのデータと購入した最新の国内外規格や多数の参考文献等に記載のデータとを比較検討し、数値の信頼性を精査して必要に応じ修正・加筆する。

3. 調査結果

品名について、新規の貨物を追加し出来る限り和英対訳併記した。各物理的・化学的性状、危険性、有害性、安全輸送上の許容濃度について、これまでのデータと新たに購入した国内外規格や多数の参考文献等に記載のデータと比較検討し、数値の信頼性を精査した。各貨物には新たに CAS 番号を追加し、水溶性（貨物が水に溶ける量）については、なるべく数値を追記した。区分について、毒物、ガス、化審番号を追加した。

4. まとめ

見直し・改訂した内容をデータベース化して不特定多数を対象に当会ホームページ上で公開し、定期的に見直しを行い、必要に応じて Update を行う。また、公開情報を製本して、希望者へ謹呈することとする。